

VOL.
95

日赤の
木森 2015
November



【診療科トピックス】

お医者さんに聞きました
～循環器科～ (2・3面)

表紙写真: 姫島ハートの切株

www.takatsuki.jrc.or.jp

お医者さんに
聞きました
～循環器科～

スタッフ一同

お待ちしております。



循環器科は24時間・365日体制で 診療にあたっています。

近年、生活習慣の欧米化により狭心症や心筋梗塞などの心臓疾患が急速に増加しています。比較的若い世代からメタボリック症候群や動脈硬化が始まり、狭心症や心筋梗塞などの症状を発症していく例も増えていきます。循環器科では高血圧や脂質代謝異常症などの生活習慣病から、急性心筋梗塞や急性心不全、致死性不整脈疾患、心筋炎などの急性疾患まで幅広い循環器疾患を診療しています。さらに心筋梗塞や急性心不全などの救急患者の治療に対しては24時間・365日体制で診療にあたっています。

循環器科はあなたの体のライフラインを 整備します。

心臓は体に血液を送り出す重要な役割を持っています。そしてこの心臓自身を血液の供給を必要としており、その役目を担っているのが冠動脈です。冠動脈の太さは、ストローの太さと同じくらい(およそ4mmほど)で、動脈硬化により冠動脈が細くなってしまうと、狭心症の発作などを起こし、完全に塞がると心臓の筋肉(心筋)に血液が行かなくなる心筋梗塞という重篤な症状を引き起こし、緊急の治療が必要になります。当院は一般的な生理検査機器や造影検査はもちろんのこと非侵襲的に冠動脈疾患や心筋疾患の評価が可能なRI検査や64列CT検査、MRI検査機器を備えていますので、心臓の異常を感じられたら循環器科までご相談ください。



循環器科部長 大中 玄彦



最新の多機能
心エコー機で
検査します

患者さまの症状に応じ、さまざまな心臓の検査を行っています。
代表的な心臓超音波(心エコー)ご紹介。

○心臓超音波(心エコー)

胸部に超音波をあてて心臓の状態を検査します。当院では心臓構造や心臓弁の形態を立体的に可視化できる高性能の超音波画像診断装置を用い経験豊富な技師が検査(心エコー)を行います。また、診療所・クリニックの先生から依頼があれば当院で経食道心エコー(心房細動の血栓検索など)や運動負荷心エコー(労作時の息切れなど)も行いますのでまずはお近くのかかりつけ医にご相談ください。



○64列MDCTによる心臓CT検査(カテーテルを使用しない冠動脈造影検査)

心臓CT検査により冠動脈の狭くなった部分や塞がっている部分をカテーテルの使用なしに短時間で検査を行っています。この検査で異常が見つければ更なるカテーテルによる精査・インターベンション治療を行っています。

○心臓リハビリテーション

なんでリハビリが関係するの、整形外科じゃないの?と思う方もおられるのではないのでしょうか。じつは心不全・狭心症・心筋梗塞等の入院患者さんは、心臓の働きが低下しています。心臓リハビリテーションとは心臓病の患者さんが低下した体力を回復して、心臓病の再発防止と退院後の生活改善を目標としています。当院では多職種による包括的アプローチを実施しています。

他にも心臓カテーテル検査や冠動脈インターベンション治療(血管にカテーテルという細い管を入れてステントやバルーンで狭くなった血管を広げる治療法)、ペースメーカー治療など様々な治療を行っています。詳しくは当院の循環器科外来でご相談ください。

ホルモンバランスの異常で起こる、 こどもの病気にご注意を

小児内分泌 疾患とは

内分泌の病気とは、ホルモンに関連した病気のことです。ヒトの体内にはホルモンを作り出す臓器がたくさんあります。そしてそれぞれが特有のホルモンを分泌しています。何らかの原因でホルモンの分泌量が多すぎたり少なすぎたりすると身体の変調をきたしさまざまな症状がみられるようになります。こどもに見られる内分泌の病気を小児内分泌疾患といいます。

～こどもの特性～

こども、と一口にいつても、新生児～乳幼児～学童～思春期とめまぐるしく成長し、ホルモンバランスも変化しています。各々の時期に必要なホルモンが多すぎても不足していても、正常な成長や発育に影響をおよぼし、時には後遺症を残すことがあります。そのため迅速かつ適切な診断と治療とが非常に大切です。

～サインを見逃さないで～

「小児内分泌疾患」とは聞き慣れず自分のお子さんには関係ない、と感じるかもしれませんが。しかし実際には「ちょっと気になること」が診断のきっかけになったり、あるいはよく見られるような症状をもとに診断されることが多いのです。したがって以下のような症状でお悩みの場合は、小児内分泌の病気かもしれません。ご心配があるようであれば小児科へお気軽にご相談ください。

サインの例

- ◎身長が低い(低身長)、あるいは身長が極端に高い(高身長)
- ◎急激に太ってきた、あるいは痩せてきた
- ◎多飲、多尿、あるいは夜尿がある
- ◎学校検尿で尿糖陽性といわれた
- ◎思春期が早い、あるいは遅い
- ◎首が腫れている(甲状腺の腫脹)



小児内分泌科部長
黒柳 裕一

整形外科 ～人工股関節置換術とは～

整形外科部長 小田 幸作

変形で寝たきりになる場合も

整形外科は全身の運動器：脊椎・関節・筋・腱・神経・骨などの病気、例えば椎間板ヘルニア、脊柱管狭窄症、変形性膝関節症、変形性股関節症、四肢・脊椎骨盤などの骨折、関節リウマチなどを治療する科です。今回は変形性股関節症や関節リウマチなどによって機能障害を来した患者さまに施行する人工股関節置換術についてお話しします。

日本人は股関節の形成不全をした変形性股関節症が多く、そこに加齢変化や筋力低下などによって股関節の関節症変化を来し、進行すると歩行困難や日常生活動作が著しく制限されてしまいます。関節リウマチのかたも炎症の進行から、他には大腿骨骨頭壊死のかたも同様に進行すると股関節症変化が進展します。

体に負担の少ない「低侵襲人工股関節置換術MIS」

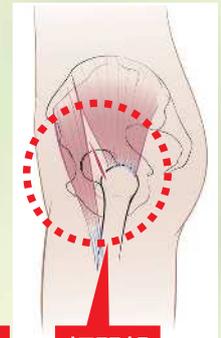
手術治療法の一つに人工股関節置換術があり、術後の症状の改善やまた20年以上の長期成績においても良好の結果が得られています。当科では従来の手術に比べて患者さんの肉体的負担の少ない低侵襲人工股関節置換術（MIS-THA）を適応症例に施行しており、当院におけるMIS-THAは筋非切離型（筋温存型）MIS-THAを採用しています。

1) 8cm程度の小さな皮膚・筋肉切開で前方より股関節に進入して筋付着部を切離せずに筋間を分けて股関節に到達して手術を行います。

2) 新たに開発した手術器具で筋腹を損傷しないようにして人工股関節を挿入します。メリットは筋肉腱の切離が少ないか、全く行わないことで患者さまの術後の疼痛コントロールや運動回復が早くなり、術後のリハビリが短くできるため、早期の社会復帰と退院が可能になるということです。

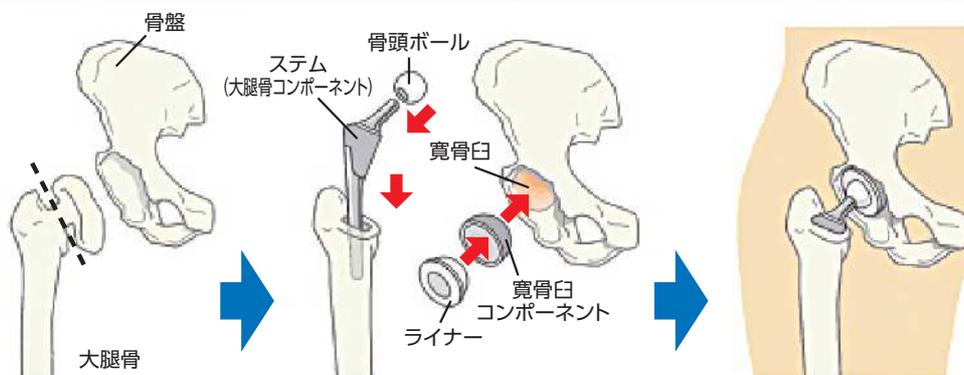


人工股関節置換後



切開部

股関節の痛みや歩行障害の方、人工股関節全置換術を考慮されている方など股関節でお困りの方は整形外科までご相談ください。



変形した関節

人工股関節で入れ換えます。

(骨セメントを用いる場合とセメントを使用せずに直接骨に固定する場合があります。)

早期発見・早期治療のために、 ぜひ受診を

過去5年間の平均がん発見率が**0.99%**
(即ち100名の受診者中約1名のがんを発見)を
誇る高槻日赤「**人間ドック**」をご紹介します



健診部長 河北 誠三郎

各検査は専門医が対応

健康長寿を理念とする高槻日赤人間ドックでは、がんの早期発見・早期治療を目指しています。高槻日赤人間ドックは平成19年に全国で137番目、大阪府で15番目、全国の日赤医療施設で7番目に人間ドック学会人間ドック健診施設機能評価の認定を受けており、胸部レントゲンは呼吸器科専門医、放射線科専門医、人間ドック専門医によるトリプルチェックを行ない、マンモグラフィーは共に検診マンモグラフィー読影認定医の乳腺外科医および放射線科医がダブルチェックを行ない、撮影は女性の検診マンモグラフィー撮影診療放射線技師が行ない、乳腺エコーは女性の超音波検査士が実施し、乳腺外科医が判定し、胃カメラは内視鏡専門医が行ない、胃透視は放射線専門医が行ない、眼科検診は眼科医が行ない、婦人科検診は婦人科医が行なっています。

大腸・胃・肺がん検査もオプションで充実

2013年度の全国のがん死亡数は多い順に

男性では

1位 肺がん 2位 胃がん 3位 大腸がん

女性では

1位 大腸がん 2位 肺がん 3位 胃がん



という結果がでていますが、大腸がんは早期発見により根治可能で、高槻日赤人間ドックでは、免疫学的便潜血反応2日法に加え、オプション検査として早期の大腸がんが発見される割合がさらに高い大腸カメラによる大腸がんドックを行なっています。

また、胃がんの発生に強く関与しているとされるピロリ菌に関し、高槻日赤人間ドックでは、胃カメラ検査を受けられる場合にオプション検査としてピロリ菌検査を行ない、ピロリ菌除菌をお勧めしています。さらに、発見される肺がんの多くが早期であるとの報告がある低線量CT検査を用いた肺がんドックを、オプション検査として行なっております。

女性技師によるマンモグラフィー検査なども実施

女性に関しましては、高槻日赤人間ドックでは婦人科検診、乳腺触診検診に加え、オプション検査として女性技師による乳腺エコーまたはマンモグラフィー検査を行なっています。日程に余裕がございましたら、高槻日赤人間ドックでは管理栄養士による栄養指導や摂津峡温泉山水館での宿泊が自慢の2日ドックも行なっておりますのでどうぞご利用下さい。

患者支援センターの ご紹介 **第2回**

訪問看護ステーション

高槻赤十字訪問看護
ステーション

今回は訪問看護ステーションの業務についてご紹介します。

当院の「訪問看護ステーション」は、訪問看護師6名・訪問リハビリ担当者1名・事務職1名というスタッフで活動しています。場所は1階外来フロアで写真のような掲示が目印です。

【お問い合わせ】

- ・月～金 9:00～17:00
- ・TEL:072-696-0571 (代表)まで



【私たちの仕事の内容】

- ①患者さまが在宅で安心して療養生活が送れるよう、地域の医療機関の先生方と連携し、難病や認知症の家族も含めた幅広い看護サポートを行っています。
- ②緩和ケア病棟や緩和サポートチーム、地域医療連携課等と連携してがん末期のターミナルケアに積極的に取り組んでいます。
- ③地域医療支援病院の訪問看護ステーションとしてMSW(医療ソーシャルワーカー)や退院調整看護師、理学療法士との連携を強化して患者さまの看護やリハビリに当たっています。
- ④地域の医療機関の先生方やケアマネジャー(介護支援専門員)と定期的な研修会を設けて広く意見交換を行い、連携の輪を広げています。また、高槻市民健康フェアに参加するなど対外的な活動も広く行っています。

【これからの取り組み】

地域に密着した看護サポートを目指して、地域の先生方からの意見はもちろんのこと、地域の住民の方からの直接のお声にもお応えしていけるようスタッフ一同がんばっていきたくと思います。

患者様の病気のことや、これからどのようにして自宅で療養していけばよいのだろう？など、不安や心配事がある時はお気軽に訪問看護ステーションまでご相談ください。



この度、当院との地域医療連携機関として登録をいただきました亀井先生をご紹介します。

今後も亀井先生との連携を深め、地域住民の皆さまの健康を支えていきたいと思っております。

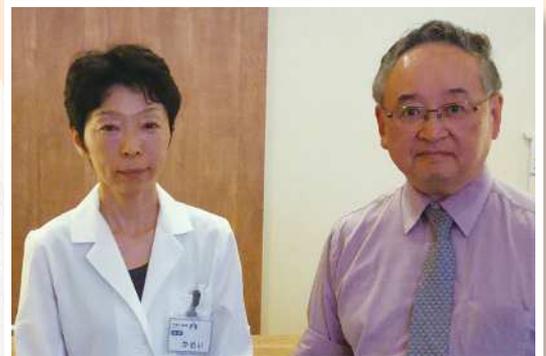
◎院長 亀井 里実 先生からのメッセージ

生まれたばかりの赤ちゃんから、ご高齢の方まで、さまざまな目のトラブルや悩みをお持ちの方のお役に立ちたいと思い、本年5月、JR茨木駅近くに「かめい眼科」を開院いたしました。

目の健康は、心の健康、そして体全体の健康につながっています。心身ともにストレスの多いこの現代社会で、目の健康を守ることはとても大切なことと思います。

私は、京都府立医科大学眼科に入局後、その関連病院でさまざまな患者様を診療させていただき、緑内障をはじめ多くの貴重な経験を積んでまいりました。この度、高槻赤十字病院の登録医に加えていただくことができましたので、ともに患者様のQOV(見え方の質)を守るお役に立てることができましたら大変嬉しく思います。

また、快適に受診していただくことも大切と考え、スタッフ一同患者様に満足していただける医院を目指してまいります。目に関することで気になることがありましたら、どうぞお気軽にご相談ください。



亀井院長(左)と当院玉田副院長(右)

登録医の先生のご紹介

かめい眼科

院長 亀井 里実

茨木市下中条町 1-4

フジロイロローズコート 1F

TEL : 072-657-8947

【診療時間】

	月	火	水	木	金	土
9:00 ~ 12:00	○	○		○	○	○
15:30 ~ 18:00	○	○		○	○	

【休診日】

土曜午後、水曜、日曜、祝日

★…木曜午後は 16:00 ~ 18:00

登録医療機関のご紹介

谷口内科循環器科 院長 谷口 寛昌先生

住所：茨木市中河原町11-39 TEL：072-665-4976

予防医学に取り組み、
健診・治療に生かしていきます



谷口院長(左)と当院循環器科大中部長(右)

◎院長 谷口 寛昌 先生からのメッセージ

私は、大阪市内の救急病院で心筋梗塞や狭心症に対するカテーテル治療を中心に、循環器救急を専門に診療を行ってきました。その中で予防医学の大切さを痛感しています。救急病院の最前線で予防医学の大切さを身近に感じてきた私が、小さな病気の段階から治療に携わる事で、より効率の良い適切な治療を提供出来るのではないかと考えています。また、大きな病気になってしまった方も、それを繰り返さないようにすることこそが、これから必要な診療になるのではないかと考えています。

当院では患者様に健康で笑顔の絶えない生活を送っていただくために、予防医学を生活の一部と考え、健診・治療を行っていかうと考えています。高血圧や高脂血症、動悸(不整脈)などの循環器疾患をはじめ、糖尿病・痛風などの生活習慣病、風邪や腹痛など、どんな些細な症状でもお気軽にご相談ください。

【診療時間】

	月	火	水	木	金	土
9:00 ~ 12:00	○	○	○	○	○	○
16:00 ~ 19:00	○	○		○	○	

『平成27年度 第56回 三島地区緩和ケア研究会』 を開催しました

研修課 阿部 哲子



昨年度からは、緩和ケアの質の向上をめざし、“医療者教育”を中心に行っている上記研究会ですが、今年度はさる8月27日(木)に2回目を開催することができました。

第一部は、緩和ケア診療科の金村誠哲医師が、『“気持ちでは負けません”最後まで生き抜いた患者との関わりを振り返る』という症例発表を行いました。第二部として、『新しい不眠治療—せん妄・転倒・依存を減らすために』のテーマで、静岡県立がんセンター腫瘍精神科部長 松本晃明先生にご講演いただきました。毎回、難解な症例や興味深い症例を提示していただきますが、金村先生の症例もそうでした。チームとして、患者様の生と死に寄り添い、それを支える家族にどう寄り添えばいいのか?二度と同じ人生に関わることはできませんから、“これで良かった…”という答えがない事の繰り返しです。『ただ、傍にいたこと』の難しさを感じずにはられません。松本先生の不眠治療に関しては、緩和ケアに限らず総ての診療科の患者様に関わる薬剤のため、とても関心が高いものでした。活発な質問がなされていました。施設の都合で場所変更を余儀なくされたせいか、参加者は45名と、期待していたより若干少なかったことがとても残念です。

講師の先生方はもちろん、お忙しい中お集まりいただいた皆様に感謝いたしますとともに、急な申し出にも関わらず、快く施設をお貸し頂きました西阿武野コミュニティーセンターの方々に紙面を借りまして深く感謝いたします。

季節の訪れを美しく告げるアート作品たち

～外来1階「ギャラリーコーナー」誕生～

社会課 福崎 美恵子

このたび、外来患者様への“癒し”や“和やかな雰囲気のある空間”を提供することを目的として、外来1階に「ギャラリーコーナー」を開設しました。

季節ごとの写真や花の絵などの展示を随時行っています。



※ギャラリーでは皆さまからの作品を広く募集しています。

ご出展に関してのお問い合わせは、
医療社会事業部社会課
(072-696-0571【内線】481)まで。





リウマチ教室を開催しました

社会課長 濱田 健司

平成27年7月5日(日)、地域の皆さまを対象に、リウマチに関する知見を広げていただくことを目的とし、5月に新しくオープンした「西阿武野コミュニティセンター」において「市民公開講座リウマチ教室」を開催しました。

この「リウマチ教室」は、日頃から、リウマチで悩んでいる方やご家族の方で、もしかしたら私もリウマチかなあ、と心配しておられた方など、大勢の市民の皆さまが参加されました。

講師には、当院のリウマチ専門医でもある小田整形外科部長を初め、リウマチケア看護師の野口、作業療法士の八木がそれぞれの立場から話しをし、皆さん真剣に聞かれていました、時には、笑いもありましたが…。質問コーナーでは、事前に頂いていた内容や日頃から思われている心配事、最新の治療の事など時間が不足するほどの質問がありました。参加された方々との質疑応答が活発に行なわれた「市民公開講座リウマチ教室」でした。

音楽の優しさと 温かさにつつまれて

社会課 福崎 美恵子

去る7月30日(木)緩和ケア病棟やすらぎホールにおいて、音楽グループ「アンサンブルミュージック」による患者さま慰問コンサートを開催しました。

このコンサートは、療養中の入院患者さまやそのご家族の方に対し、少しでも“癒し”と“やすらぎ”を感じていただきたいとの強い気持ちから開催しています。

テノール・ソプラノの声楽と、フルート・ピアノ演奏による「涙そうそう」、「昴」、「アメイジング・グレイス」などの素敵な演奏が披露され、「四季の歌」、「みかんの花咲く丘」を参加された皆さまと一緒に歌うなど楽しい時間を過ごしました。

「患者さま慰問コンサート」を開催しました♪



平成27年度秋期 (11月～12月) 糖尿病教室のご案内

年間テーマ “四季使える糖尿病教室”

当院では、糖尿病学会認定の専門医、糖尿病看護認定看護師、療養指導士、管理栄養士等が中心となり、市民の皆様が日常生活の中で正しい知識をもって健康管理が行えるよう、お手伝いさせて頂いております。毎月開催される当院の糖尿病教室を是非お役立て下さい。

- ◎ 日 時 秋期 11月～12月 11時～13時20分 (受付は10時30分から開始)
◎ 場 所 当院3階 第一会議室・講義室 ※講師、テーマは予告なく変更する場合があります

(注1) 参加者多数の場合は、未受講者を優先させていただきます。(定員20名)

(注2) 受講を取り消される場合は、必ず一週間前までにご連絡ください。 ※お車で来院し受講される方は、駐車券をお持ちになってご来場ください。

時間	11月10日(火)	12月8日(火)
11:00～11:20	糖尿病とくすり 薬剤師	患者体験談 意見交換会
11:20～11:40	糖尿病の検査について 臨床検査技師	「糖尿病になっても楽しく過ごす コツ!」～体験談を通して～ 糖尿病看護認定看護師
11:40～12:00	食事療法 2 管理栄養士	食事療法 3 管理栄養士
12:00～12:45	糖尿病食試食会	
12:45～13:00	休 憩	
13:00～13:20	ミニ健康講座 糖尿病と運動 理学療法士	ミニ健康講座 糖尿病と足病変 皮膚科医師

主 催：高槻赤十字病院

受 講 料：お食事代実費800円(税込)を当日に頂きます。 つり銭のないようにご準備ください。

※ 申込書にご記入のうえ、医療社会事業部社会課までご持参下さるか、お電話にてお申込ください。
〒569-1096 高槻市阿武野1丁目1番1号 072-696-0571 (内線481番)

家庭で役立つ薬の話

後発医薬品をご存じですか？

薬剤部 通山 由香

皆様は後発医薬品(ジェネリック医薬品)という言葉をご存知ですか？

後発医薬品は新しく開発された医薬品(先発医薬品)の特許が切れた後に製造され、「先発医薬品と同じ有効成分を同量含み、同等の効能や効果が得られる」と国が認めた医薬品のことです。外来では、院外処方箋の「後発医薬品変更不可」欄に医師のサインがない場合、調剤薬局薬剤師との相談により後発医薬品の交付を受けることができます。

先発医薬品の開発には多くの年月と費用がかかるため価格が高くなりますが、後発医薬品ではそれらが抑えられるので価格が安く、自己負担額や国の医療費を抑えることができます。

また、後発医薬品の中には味、大きさやおくすりの形状を変更してより飲みやすく改善されたものもあり、服用中の先発医薬品が苦くて飲みにくいといった悩みが解消されることもあります。

なお、後発医薬品が発売されていない場合や医師が先発医薬品を指定している等、後発医薬品を選ぶことができない場合もありますので、後発医薬品を希望される際には医師や薬剤師にご相談ください。

おすすめ レシピ

・えのきハンバーグ
・きのこ生姜の
ポカポカスープ
・サラダ・果物

材料 (1人分)

<えのきハンバーグ>

えのき	80g
鶏ミンチ(胸)	40g
卵	10g
和風だしの素	2g
塩	0.5g
こしょう	0.1g
サラダ油	2g
ベビーリーフ	25g
プチトマト	10g
だしわりぼん酢	5ml

A

<きのこ生姜のポカポカスープ>

しいたけ(干)	2g
ぶなしめじ	20g
若布(干)	1g
しょうが	2.5g
白ねぎ	3g
塩	0.2g
中華風だし	0.5g
濃口醤油	2.0g
こしょう	0.1g

<サラダ>

きゅうり	40g
ぶなしめじ	20g
ひじき(干)	1g
青じそドレッシング	5g
米酢	1g
ごま油	0.5g



作り方

- ① えのきは1cm位の長さに切る。
- ② ボールに[A]を全て入れ、えのきから水分がでて、まとまるまで良く捏ねる。
- ③ 温めたフライパンに油をひき、小判状に形を整えた②を焼く。両面を色よく焼き、中央に串を刺して肉汁が濁っていないことを確かめて焼き上げる。(加熱をオーブンで行うと、油の量を減らすことができます。)
- ④ ③を皿に盛り付け、ベビーリーフ・プチトマトを添える。お好みでだしわりぼん酢をかけて頂く。

エネルギー	457kcal	脂質	8.1g
炭水化物	81.3g	塩分	2.0g
たんぱく質	20.0g	食物繊維	7.9g



えのき



キシメジ科に属し、人工栽培によって一年を通して手に入れやすい、日本で最も多く生産されているきのこです。食物繊維や、うまみ成分であるイノシン酸を多く含みます。

食物繊維は水溶性食物繊維と不溶性食物繊維に分けられます。水溶性食物繊維は体内の余分な糖分、脂質、ナトリウムなどを吸着して体外に排泄することで血糖上昇を抑える働きがあり、不溶性食物繊維は胃や腸で水分を吸って膨らみ、便通を整えます。

食物繊維の一日の摂取目標量は摂取エネルギー1000kcalあたり10gが目安となっています。しかし、実際の日本人の食物繊維の摂取量では不足となることが多い栄養素です。

きのこ・野菜・海藻・豆類などを上手に取り入れて食物繊維をしっかり摂ることを心掛けましょう。

(参考文献 糖尿病食事療法のための食品交換表第7版)



フェイスブックはじめました。ぜひご覧ください。Facebookは病院ホームページ及びURL:<https://www.facebook.com/takatsuki.rc.hosp>から閲覧出来ます。

高槻赤十字病院の理念

私たちは人道・博愛の赤十字精神に基づき、高度で安全な医療を提供し、地域の人々が誇りにする病院となるよう努めます。

高槻赤十字病院の方針

1. 患者さまの人権と意思を尊重し、患者さま中心の医療をおこないます。
2. 一人ひとりの患者さまを全職員が支援する、チーム医療をおこないます。
3. 患者さまのホームドクターと緊密に連携し、地域で完結する医療をおこないます。
4. 常に向上心と研究心を持ち、最高最善の医療が実現できるように努めます。
5. 健全な病院経営と地域に貢献できる医療従事者の育成に努めます。
6. 災害救護活動をはじめとする赤十字に課せられた使命を果たします。



日本赤十字社 高槻赤十字病院
Japanese Red Cross Society

〒569-1096 大阪府高槻市阿武野1-1-1
TEL 072-696-0571(代表)
URL:<http://www.takatsuki.jrc.or.jp>
mail:trc@takatsuki.jrc.or.jp
発行責任者 事務部長 神谷 尚孝



人間ドック・健診施設機能評価認定施設